



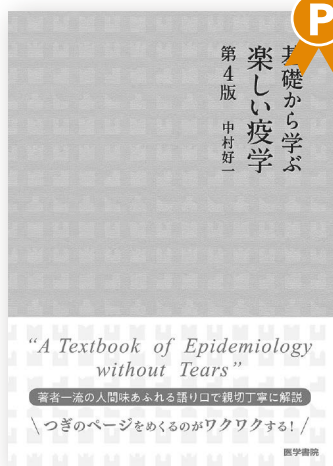
<ジェネラリスト BOOKS>

子どものけいれん&頭痛診療

二木良夫=著

本体 3,500 円+税/A5 判・162 頁/医学書院/2020

小児科診療のなかでも判断に悩みがちな「けいれん」「頭痛」(小児神経の7割を占める)の適切なアプローチを学べる1冊。けいれんか否かの判断・鑑別診断・治療、また意外と多い子どもの頭痛についても解説。けいれんや頭痛の子どもの「問診で何を聞くか」「診察で何をみるか」「必要な検査の判断」「専門医へつなぐ時」「予防投薬」「保護者からの質問への答え方」など、ジェネラリストが最低限備えておく知識をまとめている。



基礎から学ぶ 楽しい疫学

第4版

中村好一=著

本体 3,200 円+税/A5 判・242 頁/医学書院/2020

疫学の初心者向けの定番教科書。著者一流の切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で、疫学研究の方法論、バイアスの問題、統計処理の方法など、疫学の基礎知識を学べる。第10章「疫学に必要な統計」では、平均の差の検定、割合の差の検定、相関係数の検定などの解説を追加。隠れファンの多い脚注も一読の価値あり！



回復期リハビリテーション病棟マニュアル

角田 亘=編

北原崇真、佐藤 慎、岩戸健一郎、中嶋杏子=編集協力

本体 3,400 円+税/B6 変判・424 頁/医学書院/2020

回復期リハビリテーション病棟のすべてがわかる実践書。多職種が関わる回復期リハビリテーション病棟において必要な「チーム医療」のポイント—いつ、誰が、何を、どうすればよいのか—を理解するのに最適な構成。執筆陣の豊富な経験をもとに蓄積された数々のノウハウを公開。症例や頻用スケールなど、現場ですぐに役立つ情報が多数収載。回復期のリハビリテーション医療に携わるすべての職種必携の1冊となっている。